

マークデザイン 加藤昌男



本の森 9月号

篠山市立中央図書館通信 No. 137 2016年 9月1日 発行

今月の特集

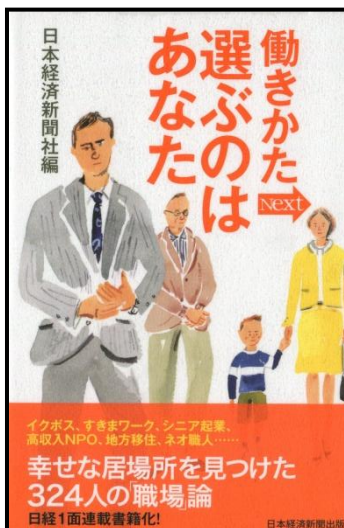
仕事と生活の
調和
(ワークライフバランス)

人口構造が変化し、確実に就業人口減少へと向かい、働き方の多様性が必要とされる時代が到来しました。介護や子育てで、なかなか離職せざるを得ない人の増加が毎日のように伝えられています。

人口減少と高齢化社会をうけ、画一的な日本企業は消滅し、安定雇用と高収入の保障がない世の中へ移行しているようです。来たるべき時に備えて、自身と家族にとってより良い働き方を、考えてみませんか。

『働き方 Next 選ぶのはあなた』

日本経済新聞社編 日本経済新聞社刊
366. 29ハ



人生には子育て、介護、闘病、災害被災など、仕事を継続するのに困難な状況に直面することがあります。非常時に備え、限られた時間の中で効率的に成果を出し、自分や家族にとって有効に時間を使える働き方を考えておくことは、常日頃から必要でしょう。324人の働き方が紹介された本書から、働き方の多様性が進行していることがわかります。職業選択権は労働者側にあり、カードは私たちが握っている…そんな時代に突入したと実感できる一冊です。

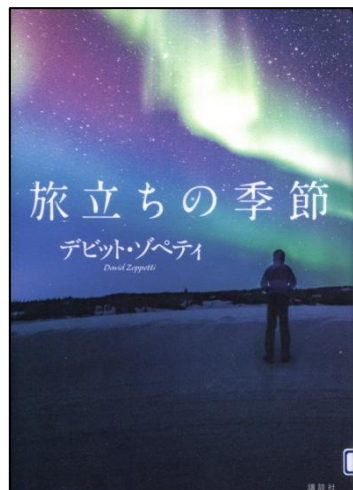
収入減が不幸なのか、物欲を満たすことが幸福なのか…幸せの価値観の変化も働き方の幅を広げてくれることを、本書は暗に示しているようです。かつて企業戦士という言葉があり、“♪24時間戦えますか”というフレーズが流行ったあの時代より、労働環境は好転に向かっていると願わずにはられません。

(小土井)

「旅立ちの季節」

デビッド・ゾペティ 著 講談社 Fゾペ

小説の棚から



「終活」は人生の終わりをより良いものにするため、事前に準備を行うことです。「終活」を契機に、人生の最終章をどう生きてどう死ぬのが、大きな課題となっている現代ではないでしょうか。

楠木健太は、海上保安官。船内のパイプ役のボースンとして信頼の厚い海の男。64歳で退職を迎えます。妻の急死後独りの彼は、先輩ボースンの孤独死をきっかけに、「終活」を始めました。エンディングノート、「サ高住」（サービス付き高齢者向け住宅）の見学、財産管理などの講座、模擬葬儀や墓の見学、遺影写真の撮影など、着々と進めていく場面は小説を超えてルポとしても読めます。実の娘同様に育てられた姪の理沙は、その姿に戸惑い心配しながら、夫のペッカと共に見守りますが…。別れ際の美学にこだわる楠木は、ペッカの故郷・フィンランドのオーロラ観察村に移住した二人のもとへ。オーロラの人智を超えた魅惑的で幻想的な眺望、神秘的に触れても尚、理想とする死にとられる楠木は何を決断したのでしょうか。来日から三十年、日本を冷静に観察するスイス人の著者。淡々とした文章が心に響きます。

（細見）

『奔走老人』

あなたの村に学校をつくらせてください

谷川 洋 著 ポプラ社 372.2タ

一般書の棚から

バリバリの商社マンだった著者は、定年間近に闘病中の妻を亡くし、第二の人生を一人で迎えることになります。ふとしたきっかけから、日本財団の学校建設プロジェクトに関わることになり、彼の老後の人生設計は大きく変わりました。

途上国に学校をつくるという国際支援は、それほど珍しいものではありませんが、著者の場合は少し違います。アジアで、経済的発展から取り残された、少数民族が暮らす山岳地域の「教育環境の改善」と「村の発展を支える活動」をするのです。地域住民と一緒に学校を建て、作りっぱなしにせず、不備がないか時々確認し、そこで教える先生を育て、卒業した子供の職業訓練もする…。本書には、著者の思い入れや奔走の様子と共に、同時進行の国際交流事業による、東北の被災地と、支援地の子どもたちの交流の様子など、心温まるエピソードも綴られています。『後進国から学ぶことも多々ある』という件には頷いてしまいます。

73歳の著者。高齢になっても夢を語り、夢のために奔走できるなんて、現役引退後の人生も捨てたもんじゃなと思わされます。“学校はつまらない”と思っている中・高生にも読んでほしい一冊です。（酒井）



■篠山市立中央図書館(篠山市西吹 88-1) TEL 079-590-1301/FAX 079-594-5450

ホームページ <http://edu.city.sasayama.hyogo.jp/c-library/>

イベント

絵本講座「こどもと絵本」

参加申込受付中！

絵本にはどんな役割があり、こどもの成長とどうかかわるのか。

どんな絵本があり、何を選べばいいのか。

絵本の入門編として、どなたでもご参加できます。お気軽にどうぞ！

○開催日および内容

第1回 平成28年10月27日（木） 「こどもの発達と絵本」

第2回 平成28年11月10日（木） 「いろいろな絵本の中から選ぶ」

○開催時間 両日とも、午後1時30分～午後3時30分

○開催場所 篠山市立中央図書館 視聴覚ホール

○講師 児童文学研究家 石川 晴子氏

○申込方法 参加申込書に必要事項を記入の上、下記申込先まで提出ください。

なお、**定員は30名**までとさせていただきます。

○申込先 篠山市立中央図書館 T E L 079-590-1301

F A X 079-594-5450

広場

9月といえば十五夜のお月見。月見団子をお供えして、月を眺め、食べるという風習ですね。古来より月は人々にとって大事なものでした。月の形から月日を知り、田畑仕事に役立てていました。特に秋の満月はとても綺麗に見えることから、実ったものをお供えして豊作を感謝しました。これがお月見の由来です。今日でも満月の夜には家の縁側にすすきやおだんごをお供えして綺麗な月を眺めて楽しめますが、収穫されたものをありがたく感じながら眺めるとまた一味違ったものになりそうですね。

中央図書館 中井 慎太郎

HIROBA

■篠山市民センター図書コーナー（篠山市黒岡 191） TEL 079-552-0394

開館時間 10:00～18:00（日曜日は 17:00 まで）

※職員は 12:00～15:00（土日は 13:00～15:00）の間、駐在





映画上映会のお知らせ



入場無料

申し込み不要

「コンタクト」

1997年・アメリカ 150分・吹替

■監督 ロバート ゼメキス

■出演 ジョディ フォスター 他

■日時 9月 9日(金) 14:00~16:30

9月10日(土) 15:00~17:30

■場所 中央図書館 視聴覚ホール



図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1 親子ふれあい スペース開放 (図書コーナー)		2	3
4	5 休館日	6	7	8 親子ふれあい スペース開放 (図書コーナー)	9 映画上映会	10 篠山だけ 図書館の日 映画上映会
11	12 休館日	13	14	15 親子ふれあい スペース開放 (図書コーナー)	16	17
18	19 図書コーナー 休館日	20 休館日	21	22 図書コーナー 休館日	23	24
25	26 休館日	27	28	29 親子ふれあい スペース開放 (図書コーナー)	30 休館日	